2016.10.27

ナツツバキ？の正体

小嶋祥三

ナツツバキ？は夏の暑さにやられたが、なんとか無事に秋を迎えられた。この春から夏にかけて 33 枚の葉が芽吹いた。27-29 枚目の葉は直ぐに黒くなり、余り開かず枯れてしまった。肥料をやったところ、30-33 枚目は立派に開いた。34 枚目は開くことなく終わりそうだ。それが季節のせいか、肥料が足りないせいか。肥料をやって様子をみていたところ、一向に葉が開かないので、今季はこれで終わるようだ。

最近、妻がこの木は雑草ではないかと言いだし、興味を失ったようだった。一方、わたしは草ではないと思ったが、ナツツバキであることに疑問を持ち出していた。ナツツバキにしては葉が大きすぎるのだ。

最近、庭木の剪定を植木屋さんにお願いした。この木は何だろうかと植木屋さんに聞いてみた。去年も聞いたのだが、木が小さすぎて分らないと言われた。今年の植木屋さんの見立ては、コブシかモクレンではないか、とのことだった。散歩の道にモクレンの木があったのを思い出し、さっそく行ってみた。葉先がとんがったりしていて、確かによく似ている。

近所にコブシもモクレンもないので、どこからきたのか分らない。樹木に格があるか知らないが、ナツツバキから格上げなのか、格下げなのか。いずれにせよ、うまく育てば花が咲く。いつ咲くか分らないが、先が楽しみである。

下の写真は 4 月 21 日。右の写真は 8 月 9 日に撮影したもので、26 枚目が綻び始めた頃。今はさらに伸び現在は樹高？95cm である。